



通水50周年を祝う

昭和35年の一部給水開始から、50年の節目を記念した「宜野湾市通水50周年記念式典」が行われ、オープニングセレモニーの除幕式では、リニューアルされた水道局前の池が披露されたほか、25年の時を経てタイムカプセルも開封されました。

ぎのわん 第78号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411(内 340)
印刷 株式会社東洋企画印刷



オープニングセレモニーの除幕式では、コイの放流やタイムカプセルの開封も行われた

定例会の経過

12月	3日	議会運営委員会
	7日	所信表明、案件上程、説明
	9日	上程案件に対する質疑、常任委員会への付託
	10、13日	常任委員会議案審査 (総務、経建、福教)
	15～17、 20～22日	一般質問 (質問者24名)
	15日	経済建設常任委員会
	16日	会派代表者会議
	17日	福祉教育常任委員会
	20日	議会運営委員会
	24日	各常任委員会の審査報告及び表決

真志喜中学校校舎増改築工事 請負契約 14億190万円余を同意

12月 定例会 会期 12月7日～12月24日

第358回宜野湾市議会定例会は、12月7日から12月24日までの18日間の会期で開かれました。

今定例会は、新市長の所信表明を初め、平成21年度一般会計歳入歳出決算を含む10件の歳入歳出決算の認定や真志喜中学校校舎増改築工事(建築第1工区、第2工区)請負契約、さらに意見書の提出など、37件にわたる議案等が審議され、24名の議員による一般質問も行われました。

12月定例会 主な議案の 審議経過

平成二十一年度一般会計歳入 歳出決算の認定について

委員会審査では、市営住宅使用料を初めとする使用料及び手数料の不納欠損処分の法的根拠やあり方についての質疑がなされ、地方自治法に基づき不納欠損処理を行っているが、今後は判例の動向を踏まえ、債権管理条例の制定について市町村の状況を調査研究していきたいとの答弁がありました。委員からは、まず収入確保に向けた努力を行った上で、市民に財源として還元すべきであり、公平で適切な債権管理業務を進めていくよう提言がされています。

そのほか公共施設維持修繕事業における小規模工事等市内登録者の活用状況や基地関係交付金の交付額の推移と他市町村との比較等について、多くの質疑、提言等がなされ、全会一致で認定されました。

真志喜中学校校舎 増改築請負契約について

委員会審査では、今後増改築工事をもっと工区分けし、多くの市内業者への受注機会を与え、育成してほしいとの要望や、県と本市の入札制度の違いや重複指名に至った経緯などさまざまな議論を経て、全会一致をもってそれぞれ同意されました。

(第一工区)
契約金額
七億千八百二十万円
契約相手方
前田建設・大日土木JV

(第二工区)
契約金額
六億八千三百七十七万七千五百円
契約相手方
富士建設・丸清建設工業JV



増改築のため旧校舎が取り壊し工事が進む

市道の認定について

昭和四十三年に都市計画決定されたものの約四十年経過しても機能していない三十四・六十八我如古線を、県のガイドラインの変更に伴い、地元からの歩道を含めた整備の要請により、第三者機関の設置と住民の三分の二以上の同意により廃止することで、代替道路として市道認定し、整備していくための内容です。

今後、市道認定と概略設計等の状況を見て、県との補助事業や交付金申請を調整していき、平成二十三年度から二十七年までの五年間で完了したいとの答弁があり、本件については全会一致をもって可決されました。

意見書

今定例会において、三件の意見書が、議員より提出され、それぞれ原案可決され、各関係機関に要請しました。

- ◆さとうきび価格・政策確立に関する意見書
- ◆TPP交渉への参加反対に関する意見書
- ◆子宮頸がん予防及び早期発見の施策推進を求める意見書

第二五九回臨時会

二月三日に開かれた臨時会において、伊原市営住宅建替工事（A、B棟建築）請負契約を含む四件の議案が審議され、それぞれ同意、承認されました。

議員の表彰

県市議会議長会から、第四百四十四回定期総会において、市政の振興に貢献された功績により十二年功労の表彰がされました。

桃原 功 議員

議事事務局の人事異動

平成二十三年一月四日付けで議事事務局の人事異動が行われました。

次長 和田敬悟（昇任）
よろしく申し上げます。

なお松本幸雄次長は十二月末日をもって退職されました。大変お疲れさまでした。

公共施設等の視察研修

本市に関連する公共施設の理解を深めるため、十一月九日に議員による視察研修が行われました。

倉浜衛生施設組合では新設されたエコループ池原等の施設で、リサイクルの処理の現状について、その他に、宜野湾浄化センターや清水苑、マリン支援センター等も視察を行いました。



倉浜衛生施設の中央制御室で担当より説明を受ける

市議会の活動状況（平成二十二年一月～十二月）

1. 定例会・臨時会の開催等について

区分	会期日数	本会議日数	一般質問日数	質問者数	傍聴人数	
定例会	3月定例会	32日間	15日間	6日間	23人	92人
	6月定例会	16日間	7日間	4日間	17人	13人
	9月定例会	21日間	9日間	5日間	19人	69人
	12月定例会	18日間	9日間	6日間	24人	96人
	小計	4回	87日間	40日間	21日間	83人
臨時会	4回	10日間	6日間			0人
年間合計	8回	97日間	46日間	21日間	83人	270人

2. 各委員会の会議日数等について

委員会名	内 訳	委員数	委員会開催日数		
			会期中	閉会中	合計
総務常任委員会		9人	14日間	5日間	19日間
経済建設常任委員会		9人	11日間	2日間	13日間
福祉教育常任委員会		9人	16日間	3日間	19日間
議会運営委員会		10人	5日間	7日間	12日間
基地関係特別委員会		10人	3日間	1日間	4日間
西海岸地域の開発に関する特別委員会		10人	0日間	0日間	0日間
全員協議会		28人	0日間	1日間	1日間
合計			49日間	19日間	68日間

一般質問

今定例会は、24名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

- 市長 安里 猛
- 教育長 宮城茂雄
- 水道事業管理者 新田宗仁
- 総務部長 仲村 隆
- 企画部長 城間盛久
- 基地政策部長 山内繁雄
- 福祉保健部長 玉那覇豊子
- 市民経済部長 新城正一
- 建設部長 稲嶺盛政
- 教育部長 宮平良和
- 指導部長 下地邦敏
- 消防長 平安多常明
- 会計管理者 國古秀子
- 選挙管理委員長 喜瀬昭夫

普天満宮周辺 まちづくり事業について

呉屋 等 議員

◎議員 計画づくりの進捗状況とその中にもある平和祈念像の原型の活用について、その所有団体である(財)沖縄協会との正式合意はされているのか伺いたい。

◎企画部長 既に業者と契約をし、自治会、商工会、観光協会、期成会等関係団体と意見交換を実施し、近々検討委員会を開催することとなっている。また、平和祈念像の原型の活用については、平成十九年十一月に(財)沖縄協会に無償譲渡の要請をしており、前向きに検討する旨回答を得ている。

◎議員 以前防衛局から計画規模が縮小し、費用対効果がないとのことで休止されたものと同様のものとなっているのはなぜか。

◎企画部長 現計画はたたき台であり今後、関係団体、市民等から十分意見を聞いて修正していくこととしている。
◎議員 既成概念にとらわれず、補助メニューも国交省や経産省等のものも含めて思い切った計画にしてほしい。

保育行政について

喜舎場 保 議員

◎議員 当局が考える待機児童の定義とその解消施策を答弁願いたい。

◎福祉保健部長 待機児童とは、保育所入所申込書が提出され、かつ、入所条件に適合するもので、現に保育所に入所できていないものを言う。また、解消施策としては、宜野湾市児童福祉施設整備計画に基づいて、保育所の創設増設、分園設置を推進するとともに、定数の拡大、弾力化による入所児童数の拡大を図っているところである。

認可外保育園の助成について

島 勝政 議員

◎議員 市長の所信表明で認可外保育園の支援を拡充するとあったが、何を支援し、何を拡充するのか。

◎福祉保健部長 認可と認可外保育園では、児童一人につき約百万円と二百万円の五十倍の差があり、今後この差を縮める検討を行う必要がある。

◎市長 今回の市長選で認可外保育園の支援の拡大を約束した。今後研究し、施設整備に対する新たな融資も含めて検討したい。
◎議員 認可外保育園児に對

◎議員 認可外保育園をどう考えているのか。また、支援はどうなっているのか。

◎福祉保健部長 女性たちが働きながら子育てをしていく中で、大きな役割を果たしている。なお、支援策としては、助成要綱に基づき、児童の健康診断料、牛乳代、米代その他教材費等も助成している。
◎議員 子供たちの未来が重要であり、子育て、教育の環境整備が必要と考えることから、市長としてもしっかりと取り組んでいただきたい。

する給食費等の助成金原資についてお答え願いたい。

◎福祉保健部長 県の新すこやか保育事業補助金を活用する他、市単独で助成している。

◎議員 福祉振興基金等により給食費助成ができないか。

◎福祉保健部長 この基金は、地域特性を生かした在宅福祉の向上等、自治会等に補助する制度である。
◎議員 条例や制度改正を検討し、ぜひ、助成拡大を図っていただきたい。

普天間基地早期返還と平和行政について

知念 吉男 議員

◎議員 基地あるがゆえに市民団体からも早期返還に向けた要請等が多々あると思いますが、今後、どのように取り組まれるのか。

◎基地政策部長 軍用機騒音測定状況をリアルタイムで知ることができる電光掲示板の設置要請については、部内でも効果を調査、検討させてもらいたいと考えており、市民広場の閉鎖に関しては、米軍側と協議し、早期に開門できるように取り組んでまいります。
◎議員 本市は平和を願う事

業が多く展開されておりますが、マスコミ報道されましたが、平和祈念資料館に展示されている銅板製の千羽鶴を引き取り、平和に関する事業の一環として活用できませんか。

◎企画部長 どういう方法で展示ができるかを関係部署において、前向きに検討していきたいと思っております。
◎議員 千羽鶴を展示することで、平和学習や事業として発展させることができると思っていますので、ぜひとも検討してもらいたい。



京都府板金工業組合から贈られた、銅製の千羽鶴（1階ロビー）

宇地泊区画整理事業と国道連結について

濱元 朝晴 議員

◎議員 マリーナ通り線と国道とを連結する中央分離帯を閉める工事に対し、中止要請はできないものか、伺いたい。

◎市長 国道への取りつけについては、真志喜区、宇地泊区、大謝名区、上大謝名の四自治会から強い要請があり、何度も話し合いを重ねてきました。市としても、住民の意向も踏まえながら、関係機関と調整を行った結果、市道真志喜四号、宇地泊東線の信号制御による交差点形状を確保する場合、マリーナ通り線の交差点

化は交通ルールに基づく、と県の公安委員会としては、現状のままでは無理であるということでした。今後、当該区画整理事業が完成し、交通量の調査等もした上で、マリーナ通り線の交差点化については要請してまいります。

◎議員 付近の住民や地権者は、ほとんどこの状況をわかっています。市長を先頭にしたい工事中の中止要請をお願いするとともに、住民が納得のいくように誠心誠意取り組んでもらいたい。

入札制度のあり方について

上地 安之 議員

◎議員 本市の入札制度が税収へどのように影響しているのか、伺いたい。

◎総務部長 この五年間で、建設業者数は百三社の減であり、法人市民税も二十万円余りの減収となっております。これは、全国的な景気の落ち込みが大きな要因であると考えられ、本市企業全体の課税額低下にも影響しているものと思われま

◎議員 普通建設事業費は拡大している反面、このような実態は不思議でなりません。

低入札制度のメリット、デメリットを検証していますか。

◎議員 市長は所信表明で、市内業者の支援、育成に向け取り組みたいとうたっておりますので、今後は学習会等をぜひとも開催し、意見交換を行い、改善できる点は改善していただきたい。

学習等供用施設の建設予定事業について

米須 清正 議員

◎議員 長田区公民館は築三十八年で老朽化し、行事等に支障を来している現状で、早期の公民館建設の要望がでていますが、資金計画の説明をお願いします。

◎総務部長 平成二十二年七月現在で本工事費一億五千万円、実施設計委託料八百四十五万円、監理業務委託料二百二十万円、事務費八十六万円の合計一億八千三百万円となっております。

◎議員 平成二十一年四月の説明に比べ、自治会の負担が

二千百万円増加しているが、毎月区民から徴収している積立金のさらなる増額は自治会離れが懸念される上、平成二十五年建設は資金的に厳しく、ぜひ助成を要望したいが考えを伺いたい。

◎市長 学習等供用施設の整備に当たり、調整交付金の活用等を含め関係部署と協議を進めながら、一億円をめどに用地費の助成をしていきたい。

◎議員 行政と自治会の連携を密に、平成二十五年完成に向け、協力をお願いします。

選挙広報の取り組み方について

知名 康司 議員

◎議員 選挙広報とは候補者にとって経歴、政策等を訴える重要な機会であり、有権者は政治に参加する権利、等しく情報を得る権利がありま

◎選挙管理委員長 本市は平成二十二年九月十二日に市議選、さらに同年十一月二十八日には市長選が執行されたため、今後、効果、課題等も含めて十分研究をしていきたいと思

◎議員 最近投票率の低下が著しく、投票率の向上に向けた取り組みとして、選挙広報を早目に検討していただきたいが、いかがでしょうか。

◎議員 津波が発生した場

地域防災計画における連絡体制について

宮城 司 議員

◎議員 災害時の連絡手段である防災行政無線が聞こえづらいという声があり、確実に情報伝達できる十分な取り組みはなされておりますか。

◎総務部長 設置当時から建物の状況の変化もあり、また音が大きい、うるさい等、苦慮しておりますが、角度や音の調整を図り、できるだけ多くの方へ周知できるよう取り組んでおります。また放送した内容を再確認できる応答電話も整備してございます。

◎議員 津波が発生した場合は、伊佐区民はどのように避難すべきなのか、また一時津波避難ビルの指定はまだと伺っておりますが、どのような対策を取り組んでおりますか。

◎企画部長 市営住宅跡地への防災施設建設要望については、各部署からの意見なども取りまとめ、専門的な方々の意見もとりながら検討していきたいと思

◎議員 地域住民や、お年寄りがそこに行けば大丈夫という気持ちを持つ建物ができるようお願いします。

◎議員 津波が発生した場合は、伊佐区民はどのように避難すべきなのか、また一時津波避難ビルの指定はまだと伺っておりますが、どのような対策を取り組んでおりますか。

◎議員 津波が発生した場

◎議員 津波が発生した場



老朽化、狭隘なため、区民からも新施設の建設が期待される

市民パーク前信号機設置と整備について

宮城 勝子 議員

◎議員 公園の正門入り口は非常に交通量が多く、普天間方面から公園への進入や、公園から我如古方面へ右折する場合、特に高齢者の方が苦労しています。事故が起きてからでは遅いので、信号機を設置して高齢者への安全対策を講じてほしいと思います。

◎市民経済部長 高齢者の方が、朝夕のラッシュ時や特に右折する際には、確かに困難な箇所だと思うので、早速要請を行い、高齢者の安全対策を講じたいと思います。

◎議員 同公園は開園して間もないこともあって雨よげが少なく、グラウンドゴルフなどのプレー中に雨が降ることもしばしばあるそうです。風邪を引くと国保の負担増につながりますので、雨宿りのできる施設を増設してほしいと思いますがいかがですか。

◎建設部長 あずまの具体的な計画はありませんが、強い要望があれば、予算等の関係もございしますが、今後検討させていただきます。

都市計画道路の整備について

又吉 清義 議員

◎議員 我如古における都市計画道路廃止後の整備形態はどのようになる予定ですか。

◎建設部長 起点は県道宜野湾西原線と市道我如古七号取りつけ部、終点は都市計画道路三十四一六八我如古線と沖縄自動車道沿いの市道我如古十二号の交点とし、計画延長約五百メートル、幅員は車道六メートル、両側歩道設置で一〇・五メートルの範囲で検討しております。

◎議員 両側に歩道を設置することは、地域住民も大変喜ぶと思います。では、開通するまでの事業計画について説明をお願いします。

◎建設部長 平成二十三年度に詳細設計を実施し、進捗状況に応じて、関係地権者全員を対象とした説明会を開催したい。事業期間は五年の予定で、地域活力基盤創造交付金により事業展開できるように要請等を行っております。

◎議員 初めて聞く補助事業なのですが、補助金がいだけるよう、ぜひ頑張ってもらいたい。

根づくり教育の取り組みについて

屋良 千枝美 議員

◎議員 学校教育において、人間としての基本的な資質である根をしっかりと育てることが重要だとありますが、根づくり教育とは一体何ですか。

◎指導部長 美しい花を咲かせるためにはしっかりと根が必要だという例えで、子供たちが秘めている可能性を十分に伸ばして将来自己実現を果たせるようにするために、育てておくべき四つの根を考へ、信頼、学び、命、誇りと表現しております。

◎議員 根づくり教育は、子供たちにとって生きる力を育てる最も大切なことだと理解しました。では、学校現場において三十人学級の取り組みの現状について伺いたい。

◎教育部長 小学校低学年ではほぼ実施されており、一人一人に目配りがしやすきめ細かな指導が行えるといった成果報告がなされています。

◎議員 低学年にとどまらず高学年に対しても段階的に取り組む等、最善な教育環境を提供し、根づくり教育の一環となるよう期待しています。

各種予防接種の無料化について

仲村 春松 議員

◎議員 近年、細菌性髄膜炎及び菌血症患者が増えているが本市でも事例はありますか。

◎福祉保健部長 市町村ごとの調査はないが、厚労省のデータより毎年約二人の子供がインフルエンザ菌、約五人が肺炎球菌による重症感染症に感染していると推定されます。

◎議員 県内の乳児は髄膜炎等の重症感染症を引き起こす恐れのある菌血症に感染する割合が本土より五倍以上高く、予防のために、原因となる肺炎球菌やインフルエンザ菌b

型のワクチン定期接種が必要だが、見解を伺いたい。

◎福祉保健部長 県はワクチン接種促進基金を設置し、各市町村に助成を行うため、本市も肺炎球菌及びヒブワクチン等の公費助成について、次年度から実施できるように予算要求に取り組んでいます。

◎議員 予防接種は大切な事業なので、最先端の情報を取り入れながら、本市で実施する予防接種事業合計十一件のワクチンを全額助成できるように頑張っていたきたい。

市道大山七号の進捗状況について

伊佐 光雄 議員

◎議員 該事業は、国道五十八号とバイパスとのネットワークと渋滞緩和、児童生徒の安全な通学路の確保を目的とされているようですが、現在の進捗状況を御説明ください。

◎建設部長 十一月末時点での進捗率は三七・〇％であり、上部工の一期施工分のコンクリート打設は一月上旬、二期施工分は二月中旬で計画しております。

◎議員 当初計画から二年延期し、平成二十六年の供用開始となっておりますが、その理由を御説明いただきたい。

◎建設部長 一筆について用地取得までに至っておらず、工事着手できない状況にあるため、事業延長をしております。円満解決を基本としながら、一応、収用委員会へ裁決のための申請書を提出しており、公聴会、審議会の意見聴取を経て、早ければ年度内に事業認定の公告通知を受けられるものと考えております。

◎議員 できれば収用までいかないよう、ぜひ事業を成功させていただきたい。



着々と工事が進む市道大山7号の架橋建設工事

がん予防対策について

岸本 一徳 議員

○議員 那覇市では、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて公費助成を行うようですが、本市ではどのようにお考えでしょうか。

○福祉保健部長 十一市の状況を調査し、浦添市は一割負担、残りは自己負担無しとして検討がなされ、本市もその方向で考えておりますが、予算のヒアリング中ですので、福祉保健部としても積極的に努力していきたいと思っております。

○議員 がん検診の受診率を

高める方策として、受診機会の拡大に対する、医療機関への働きかけを行っていますか。

○福祉保健部長 夜間検診につきましても、検査時間が限られていくことで実施は大変困難であると考えており、本市としては特定健診とのセット検診で受診率の向上を目指したいと思っております。

○議員 行政の力だけでは限界がありますので、市民一体となつて進めていくための、その施策づくりが市長には求められていると思っております。

障がい者の自立支援の拡充について

伊波 一男 議員

○議員 現在の障がい者雇用に対する、本市の取り組みについてお聞きしたい。

○総務部長 市長部局は九名、教育委員会が二名、水道局二名で、市長部局の実雇用率は二・九八％です。

○教育部長 教育委員会の実雇用率は二・一九％です。

○議員 埼玉県の新座市で障害者就労支援センター事業を庁内で行い、本庁内の本採用ではなく企業への本採用という就労支援を取り組んでいきます。本市でも就労支援センター

事業を検討されたと思っておりますが、いかがですか。

○福祉保健部長 本市ではその就労レベルに合わせて各機関へ紹介、案内をしており、就労の訓練等の支援が必要であれば、就労移行支援サービス等の障害福祉サービスにつなげていきます。

○議員 検討するのに値すると思うので、ぜひ前向きに検討していただきたい。

○市長 自立支援センターや雇用、訓練の場の拡充については、できる限り徹底したい。

十九区地域の住居表示について

佐喜真 進 議員

○議員 昭和五十九年に住居表示の条例が制定され、平成十一年までにほぼ全地域で実施されたが、十九区と他の一部区域で残っている。住居表示整備事業は終わったのか。

○市民経済部長 全地域が実施されるまで、事業は継続されます。また、過去十九区地域においては、住民の理解が得られず実施に至らなかったようなので、今後この制度の周知活動を図り、理解を得られれば、予算も計上して執行していきたい。

○議員 過去に住居表示係があったが、専門的な人がいないために住居表示が進んでいないのではないのか。

○総務部長 当初は業務が大量のため係を設置していたが、その後の散発的な住居表示にも対応しているの、現在の組織でも問題はない。

○議員 自治会から依頼があれば、動いてもらえるのか。

○市民経済部長 住居表示についてのコンセンサスが得られるのであれば、すぐに対応できるようにしたい。

○議員 政策マニフェストにある、(仮称)総合福祉健康増進センターをどのように考えているのか。また、この四年間でつくるのかを伺いたい。

○市長 社会福祉センターの老朽化や保健相談センターの位置的な問題等を考えると、時期を得た取り組みであることから、四年間の任期の中で、建設、竣工を目指していきたい。しかし、四年間ではぎりぎりかもしれないが、市民の健康、福祉を守る立場からしっかり道筋をつけていきたい。

健康・福祉・医療の政策について

大城 政利 議員

○議員 食育推進計画を策定する具体的な策定作業、スケジュールを伺いたい。

○福祉保健部長 平成二十四年の一月には県の次期食育推進計画が出される予定で、市では平成二十三年度中には庁内関係課による情報交換をし、平成二十四年三月議会には食育推進会議案を提案していく予定で、平成二十四年度は調査、平成二十五年度には計画策定という考えであります。

○議員 スケジュールどおり取り組みをお願いしたい。

老人福祉センターの活用について

宮城 克 議員

○議員 当センターにはサークルや習い事、囲碁など約五十名の利用者がおりましたが、職員体制が二人というのは十分なのでしょうか。

○福祉保健部長 現場では人手不足の状況であり、次年度において臨時職員一人の予算要求をしております。

○議員 機能回復訓練の機器もありましたが、利用者はお年寄りのため、万が一を考えると買いかえた方がよいと思いますが、いかがでしょうか。

○福祉保健部長 ほとんどが設立時に購入したものであり、機器の取りかえとメンテナンスを次年度予算で要求しているところであります。

○議員 利用者の大半がバスやタクシー、徒歩、自転車でありませんが、マイクローバスでの送迎でもあれば、外に出る機会も増え、介護予防にもつながるのではないのでしょうか。

○福祉保健部長 お年寄りの利用する他の公共施設への移動も含め、関係部署と意見交換していきたいと思えます。



囲碁やサークル活動で多くの利用者が集まる老人福祉センター



中央分離帯の閉鎖が問題になっているマリーナ通り線との連結箇所

国道とマリーナ通り線の連結について

比嘉 憲康 議員

◎議員 真志喜自治会での説明会で、マリーナ通り線と国道との連結部分の中央分離帯閉鎖の説明で四自治会、住民の了承を得たと聞いているが、大謝名、宇地泊、上大謝名の自治会長は入っていない。それで了承を得たということでは道理が通るのか。

◎市長 区画整理事業の進捗状況、交通量の調査をして交差点形状について時期がきたら、その時点で協議するということ結論を、四自治会に呼びかけて説明会をし、了解をいた

◎市長 区画整理事業の進捗状況、交通量の調査をして交差点形状について時期がきたら、その時点で協議するということ結論を、四自治会に呼びかけて説明会をし、了解をいた

公民館建替事業計画と改築について

我如古盛英 議員

◎議員 長田公民館は築三十八年が過ぎ、一度の大きがかりな補修工事後は何もされておらず老朽化が進み、また区の行事を行うには狭隘な施設であります。改築は区民の総意であり、予算的には国の防衛省補助金を活用するしかなく、敷地の選定もまだ確定していない状況です。市長は選挙での公約で、自治会公民館の建てかえ事業の拡大に取り組むとありましたが、どう取り組むのでしょうか。

◎市長 市長選でマニフェストに掲げたのは、多くの老朽化した公民館が建てかえられるような環境づくりをしたいと思っており、例えば調整交付金の中で、一自治会一億円程度の上限を設け、公民館としてのスペースを確保できるようにし、上物について自治会、市、防衛局が一体となって進める仕組みはどうなのかということを考えております。次年度予算編成作業の中で協議しながら、三月定例会で提案したいと考え、しばらく時間をいただきたいと思えます。

子どもの貧困対策の取り組みについて

玉元 一恵 議員

◎議員 本市のひとり親世帯は、千七百八十五世帯で、そのうち百二十二世帯が生活保護を受給している状況とありますが、課題のために取り組んでいることはありますか。

◎福祉保健部長 平成二十二年度から教員資格を有する就学支援員を配置しており、教育環境に問題を抱える世帯や進学を希望する世帯に対し、学校現場や関係機関と連携を図りながら就学支援を進めております。

◎議員 貧困の連鎖を断ち切るために、今後とも頑張ってください。また、非婚世帯に対する税制上の優遇措置はありますか。

地域コミュニティの育成支援について

森田 進 議員

◎議員 本市の自治会加入率についてお聞かせ下さい。

◎市民経済部長 現在二十三の自治会があり、全体平均の自治会加入率は平成二十一年度で三五・〇八%となっております。

◎議員 団地のみならず大型マンションやアパート等も急速に増加する現在、団地独自さまざまな活動を行っているが、活動費は共益費で賄っている上、さらに自治会費を支払うのは厳しい状況です。団地自治会の育成や支援策について見解をお願いします。

◎市長 本市における団地自治会等のコミュニティ団体の支援のあり方についてどのようにあるべきか、これまでの本市の自治会育成補助の経緯を振り返りつつ調査、研究を行い、さらなる自治会育成に努めていきたい。

◎議員 地域の人々が結びつき支え合うことは、市民意識の向上と活性化にもつながると思うので、自治会認定基準の見直しも含め、早急に対応していただきたい。

市内商工業、中小企業の支援について

桃原 功 議員

◎議員 市内商工業・中小企業の支援、育成の拡充策及び計画等について伺いたい。

◎市民経済部長 空き店舗対策事業による家賃補助、小口融資制度、セーフティネット保証制度、県内融資制度案内等相談窓口の開設、県産業振興公社との連携による創業者支援の仕組みづくり等を実施している。

◎議員 秋田県や同県横手市、男鹿市等で実施されている個人住宅等の修繕に対しての補助制度があるが、本市でも検討できないか。

◎市民経済部長 住宅リフォーム助成制度は、全国百七十五自治体が国の地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用し、経済振興策として実施している。本市も商工会と連携して無料相談会を実施しているが、今後事例研究等を踏まえて検討したい。

◎議員 基地あるがゆえにさまざまなリスクを市民が負っている。理由を明確にして、市民に還元できるよう新規制度の検討をしてほしい。

第 358 回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議 決 結 果
議案第 64 号	平成 22 年度宜野湾市一般会計補正予算（第 5 号）	原案可決（全会一致）
議案第 65 号	平成 22 年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決（全会一致）
議案第 66 号	平成 22 年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決（全会一致）
議案第 67 号	平成 22 年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決（全会一致）
議案第 68 号	平成 22 年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決（全会一致）
議案第 69 号	平成 22 年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決（全会一致）
議案第 70 号	平成 22 年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決（全会一致）
議案第 71 号	政治倫理の確立のための宜野湾市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第 72 号	那覇広域都市計画事業宇地泊第二土地区画整理事業基金条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第 73 号	宜野湾市火災予防条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第 74 号	宜野湾市消防手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第 75 号	真志喜中学校校舎増改築工事（建築第 1 工区）請負契約について	同 意（全会一致）
議案第 76 号	真志喜中学校校舎増改築工事（建築第 2 工区）請負契約について	同 意（全会一致）
議案第 77 号	市道の認定について	原案可決（全会一致）
認定第 1 号	平成 21 年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第 2 号	平成 21 年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第 3 号	平成 21 年度宜野湾市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第 4 号	平成 21 年度宜野湾市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第 5 号	平成 21 年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第 6 号	平成 21 年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第 7 号	平成 21 年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第 8 号	平成 21 年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第 9 号	平成 21 年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第 10 号	平成 21 年度宜野湾市水道事業会計決算の認定について	認 定（全会一致）
意見書第 3 号	さとうきび価格・政策確立に関する意見書	原案可決（全会一致）
意見書第 4 号	T P P 交渉への参加反対に関する意見書	原案可決（全会一致）
意見書第 5 号	子宮頸がん予防及び早期発見の施策推進を求める意見書	原案可決（全会一致）
報告第 14 号	平成 22 年度（平成 21 年度対象）宜野湾市教育委員会点検・評価報告について	報 告
陳情第 1 号	子宮頸がん予防及び早期発見の施策推進を求める陳情	採 択（全会一致）
陳情第 4 号	子宮頸がんワクチンの定期接種と公費助成を求める陳情	採 択（全会一致）
陳情第 8 号	男女共同参画支援センター整備に伴う駐車場の設置について	採 択（全会一致）
陳情第 11 号	労働安全衛生体制の充実を求める陳情	採 択（全会一致）
陳情第 12 号	幼稚園教育の制度改善について	採 択（全会一致）
陳情第 14 号	さとうきび価格・政策確立に関する意見書の提出について	採 択（全会一致）
陳情第 15 号	国道 58 号と宇地泊第二土地区画整理事業施工地内マリナーナ通り線との連結に関する陳情	採 択（全会一致）
陳情第 17 号	T P P 交渉への参加反対に関する意見書の提出について	採 択（全会一致）
陳情第 16 号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第 10 号 普天間飛行場の早期返還について	承認（総務常任委員会） （全会一致）
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第 3 号 太陽光発電設備設置促進に係る条例の制定方について	承認（経済建設常任委員会） （全会一致）
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第 16 号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情	承認（福祉教育常任委員会） （全会一致）

第 359 回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議 決 結 果
議案第 1 号	伊利原市営住宅建替工事（A 棟建築）請負契約について	同 意（全会一致）
議案第 2 号	伊利原市営住宅建替工事（B 棟建築）請負契約について	同 意（全会一致）
議案第 3 号	固定資産評価員の選任について	同 意（全会一致）
報告第 1 号	道路施設における車両事故の和解等に関する専決処分の報告について	報 告